



十六銀行

第31回会社説明会資料 [2018年3月期]



2018年5月31日



2018年3月期 決算概要

2018年3月期 決算概要 4-10

自己資本 11

主要施策について

包括的業務提携 13-15

営業態勢の変革 16

収益力向上のための取組み 17-18

業務効率化のための取組み 19

経費削減のための取組み 20

効率的な店舗運営 21

ESGの取組み 22

2019年3月期 業績予想

2019年3月期 業績予想 24

収益性・経営効率 25

当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2018年3月期 決算概要

単体

(単位:億円)

	2016/3			2017/3			2018/3				前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期 A	上期 B	下期 C	C - B	通期 D	D - A
コア業務粗利益	334	317	651	317	299	616	279	302	23	581	35
資金利益	289	283	572	280	270	550	239	247	8	486	64
役務取引等利益	37	30	68	25	30	56	38	45	7	84	28
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	7	3	10	11	1	10	1	8	7	10	0
経費	263	253	516	259	252	511	252	235	17	487	24
うち人件費	146	143	290	144	141	285	140	130	10	270	15
うち物件費	100	98	198	98	99	197	95	93	2	189	8
コア業務純益	71	63	135	57	47	105	26	67	41	93	12
有価証券関係損益	35	24	60	26	48	22	19	3	16	22	44
国債等債券損益	30	28	59	26	76	49	6	39	45	32	17
株式等関係損益	5	4	1	0	27	27	12	42	30	55	28
与信関係費用	8	36	28	9	38	28	11	6	17	5	23
経常利益	133	57	190	86	33	119	62	59	3	122	3
当期純利益	95	26	122	61	30	91	46	46	0	93	2

連結

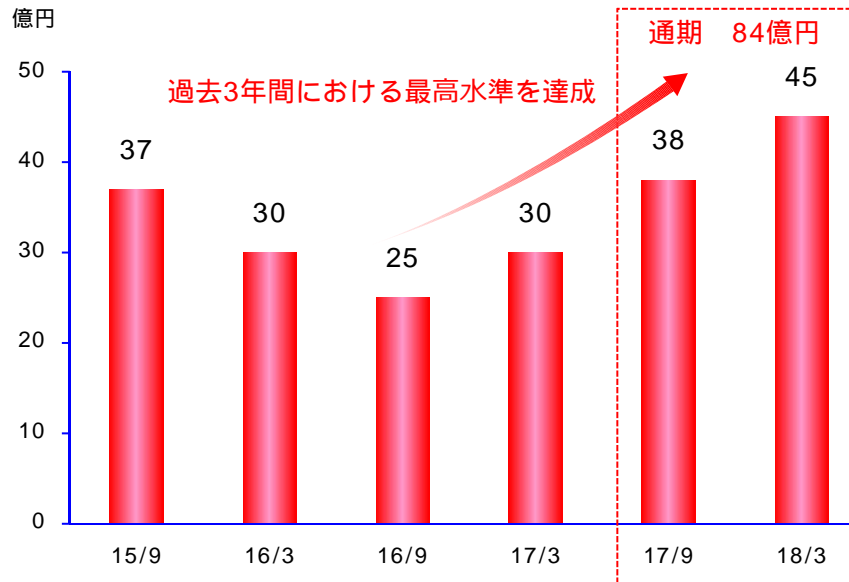
(単位:億円)

	2016/3	2017/3	2018/3	前期比
コア業務粗利益	720	683	645	37
経費	552	547	532	15
コア業務純益	168	135	113	22
経常利益	223	145	139	6
親会社株主に帰属する当期純利益	133	100	99	1

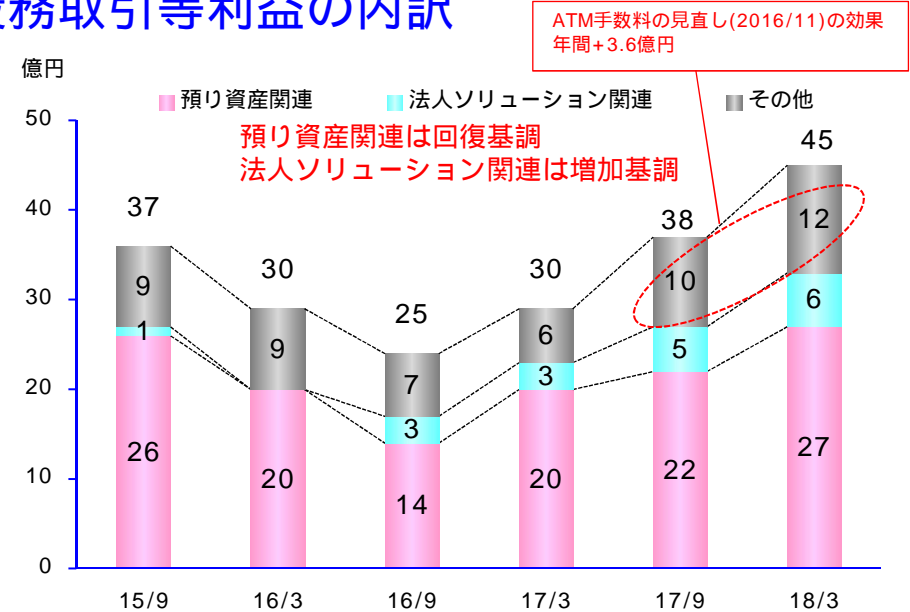
単体決算のポイント

- 経常利益は前期比+3億円の122億円
- 当期純利益は前期比+2億円の93億円
- 半期ベースのコア業務純益は下期に上期比+41億円と大きく改善

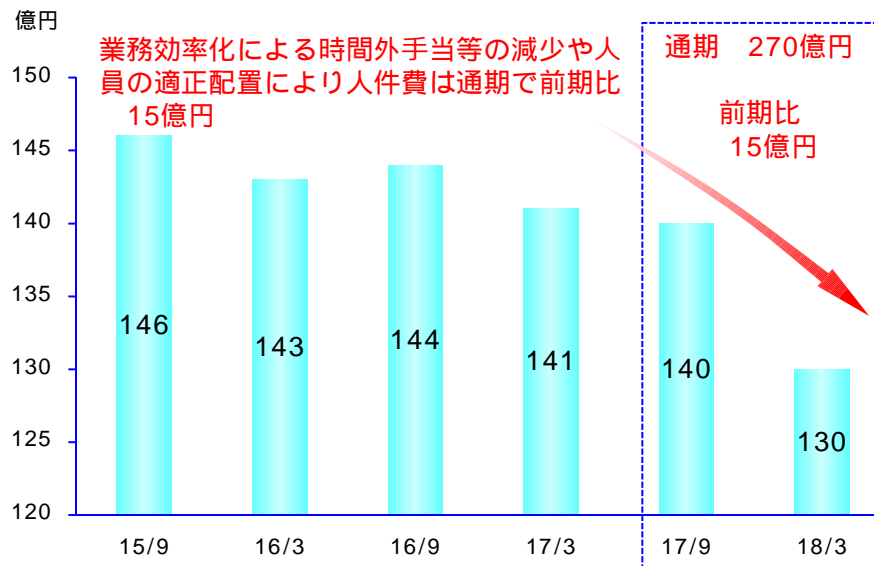
役務取引等利益（半期ベース）



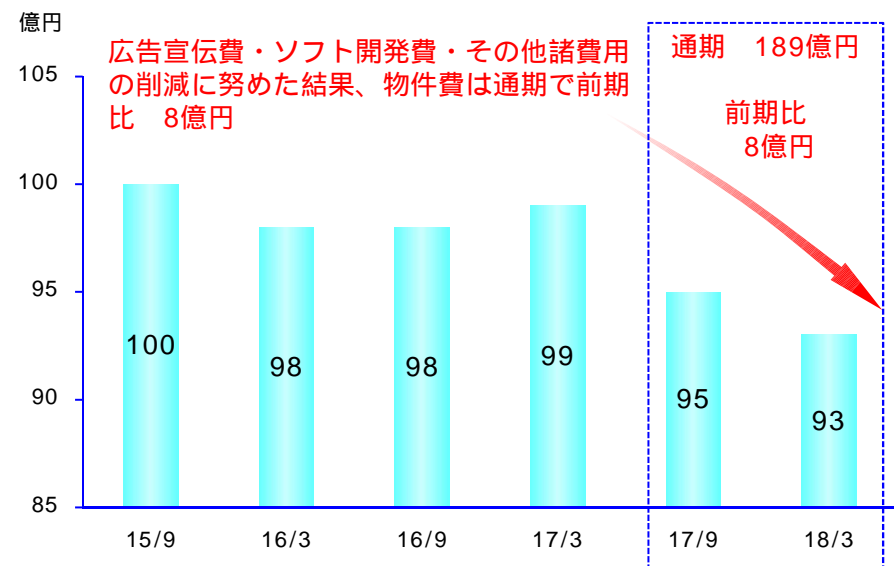
役務取引等利益の内訳



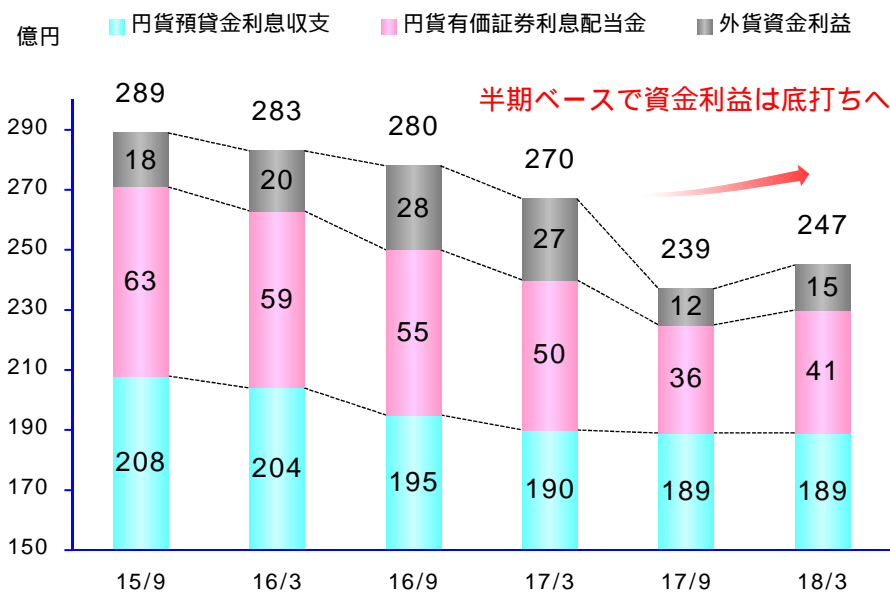
人件費（半期ベース）



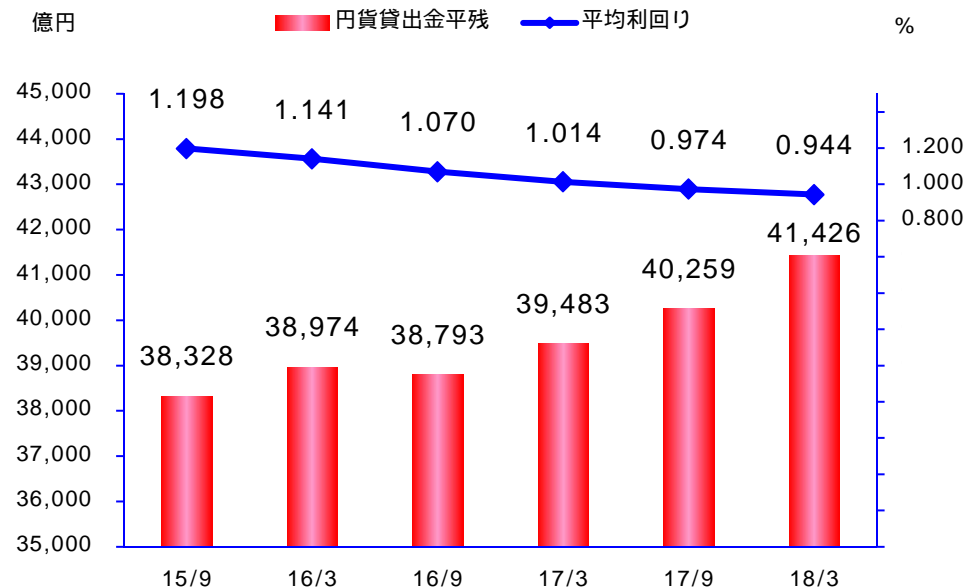
物件費（半期ベース）



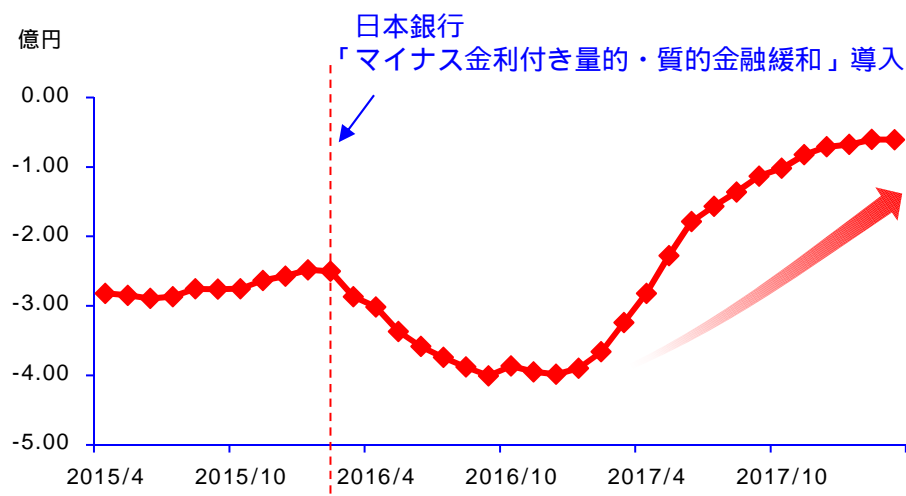
資金利益（半期ベース）



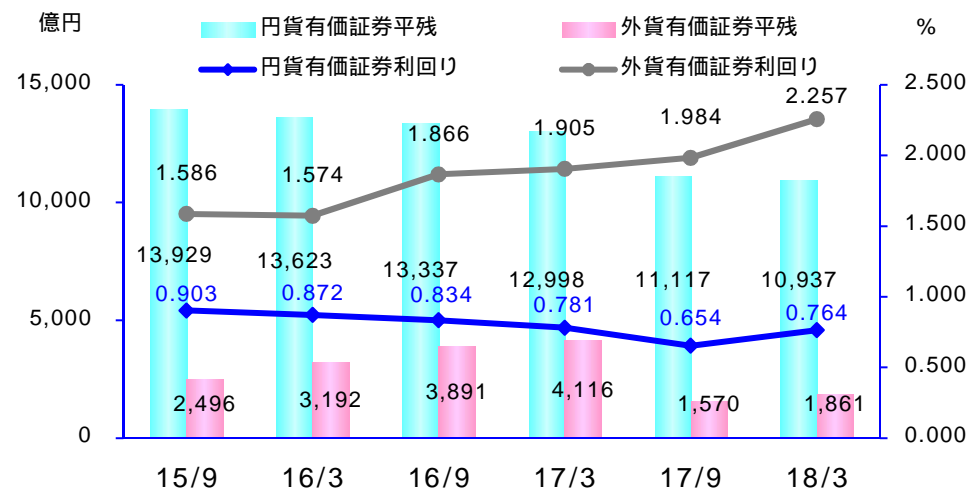
円貨貸出金平残・利回り（半期ベース）



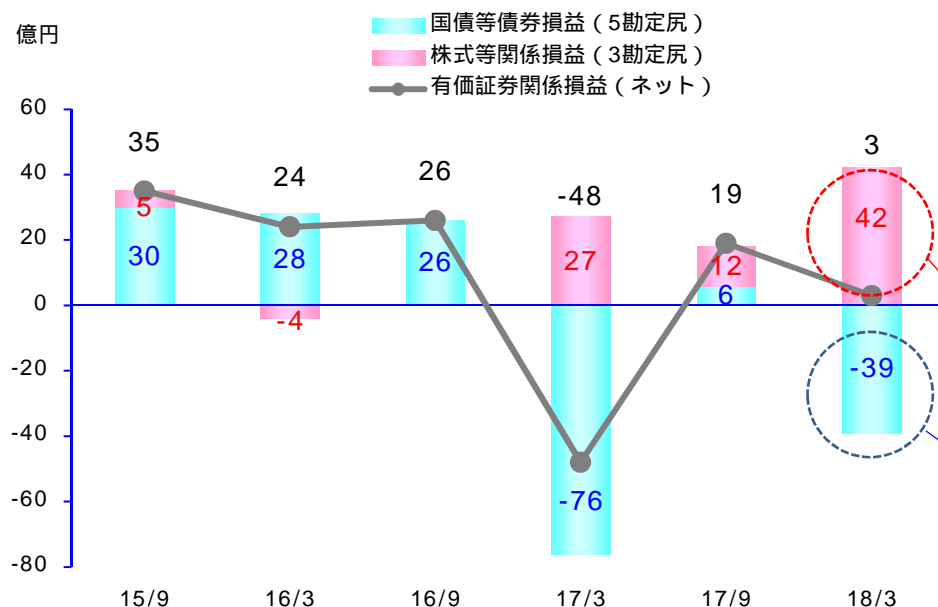
円貨貸出金利息額 前年同月比



有価証券平残・利回り（半期ベース）



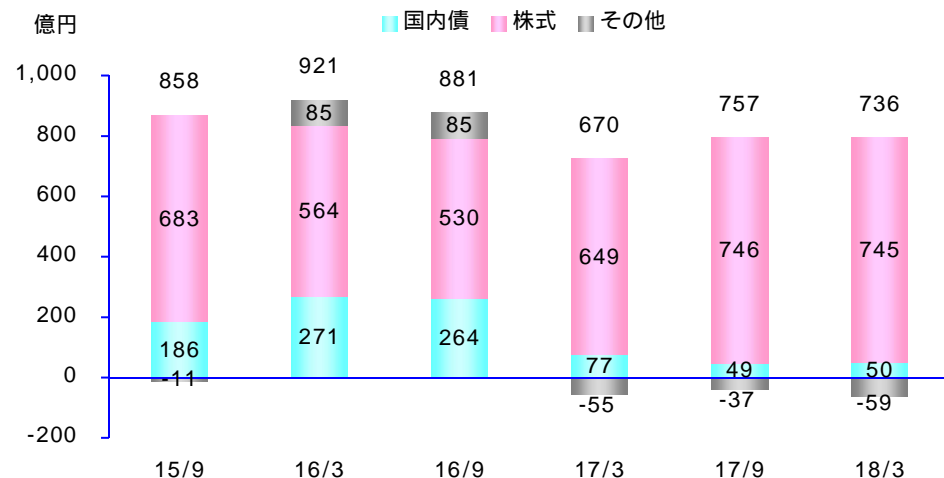
有価証券関係損益（半期ベース）



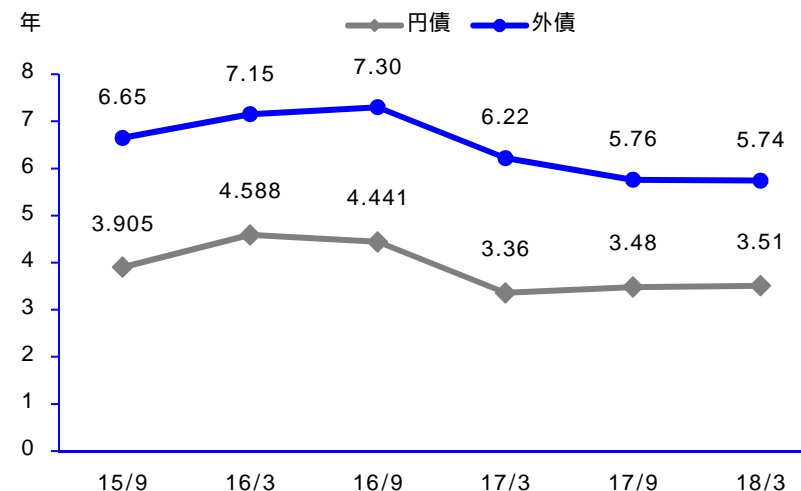
株式相場の上昇に伴い、純投資株式を売却して利益を確定。

米国の金利上昇局面において、米ドル債を中心に利回りの低い債券を売却し、利回りの高い債券への入れ替えを実施。これに伴う売却損を計上。

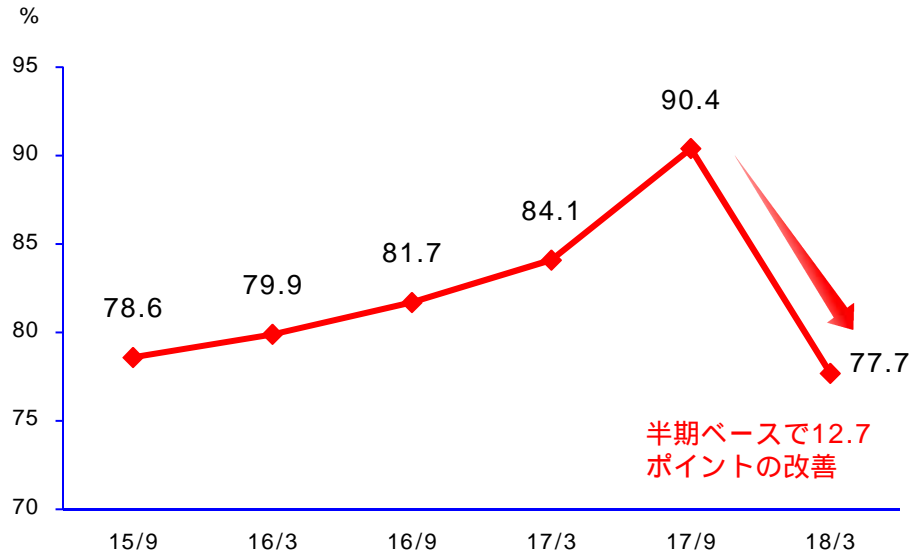
有価証券評価損益



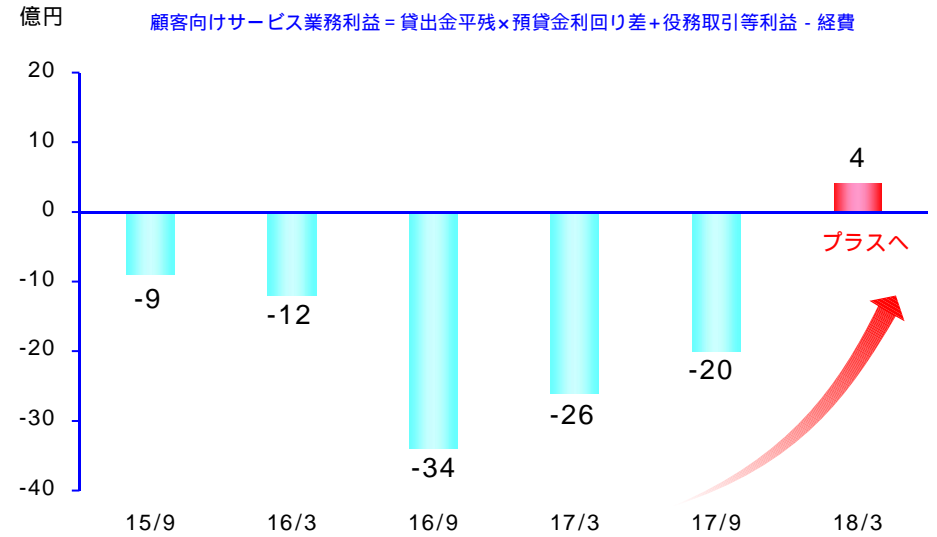
デュレーションの状況



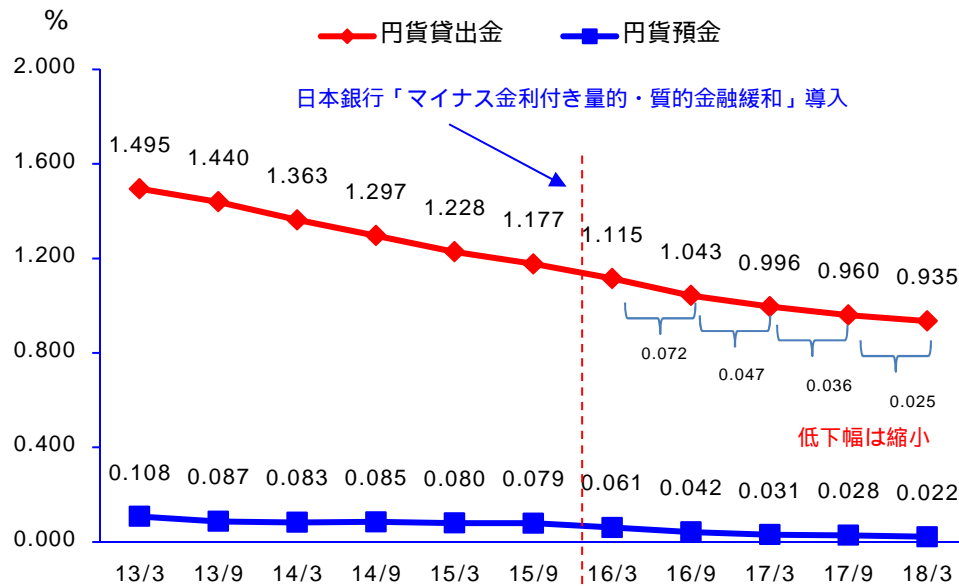
修正OHR（半期ベース）



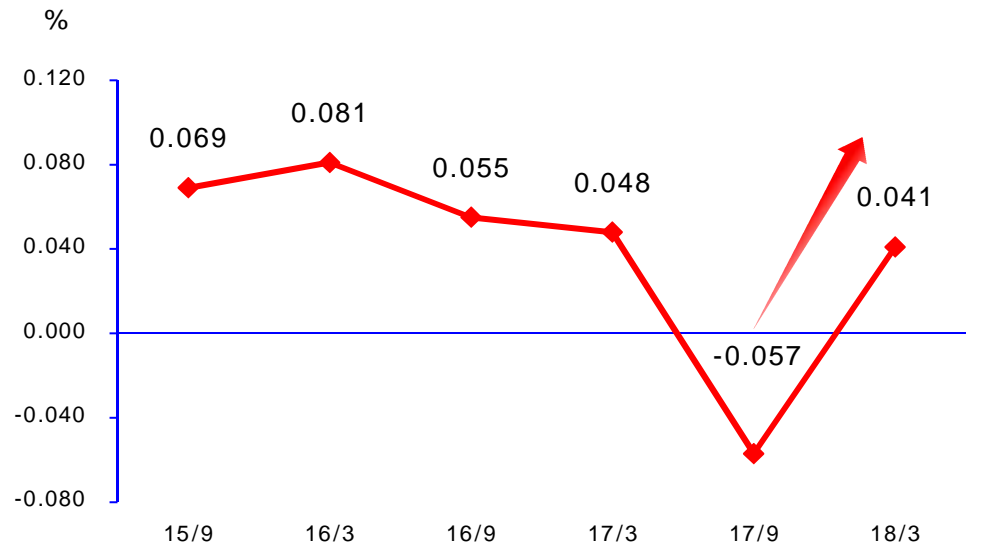
顧客向けサービス業務利益（半期ベース）



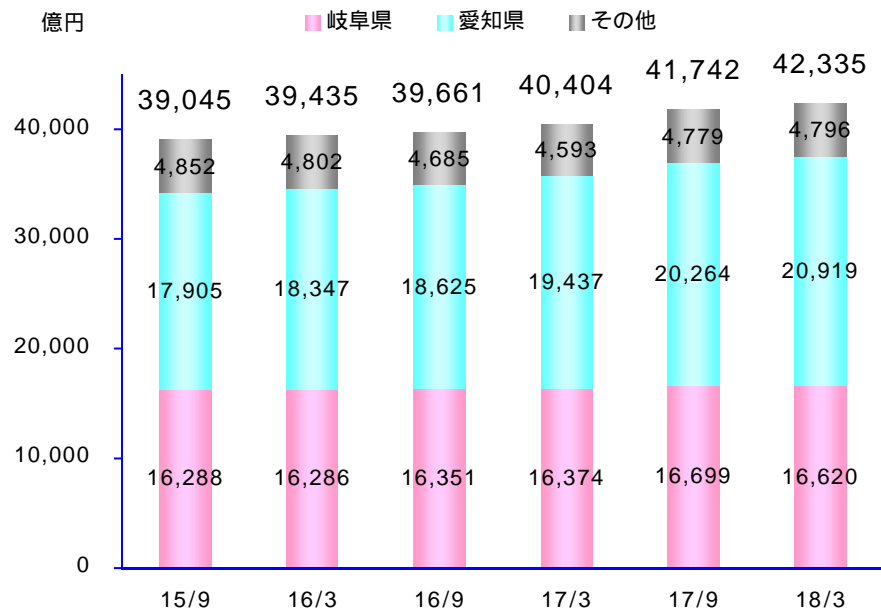
円貨預貸金月中約定利率



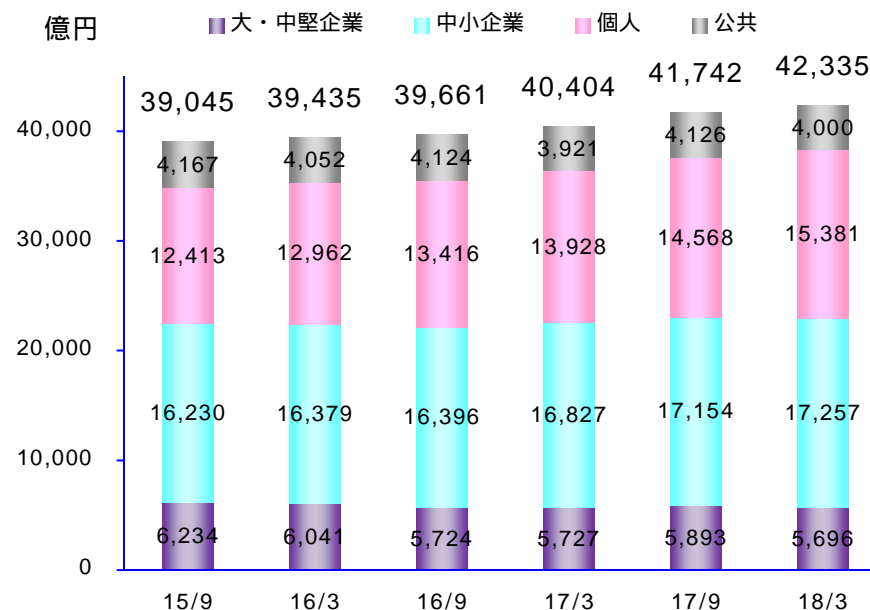
総資金利鞘（半期ベース）



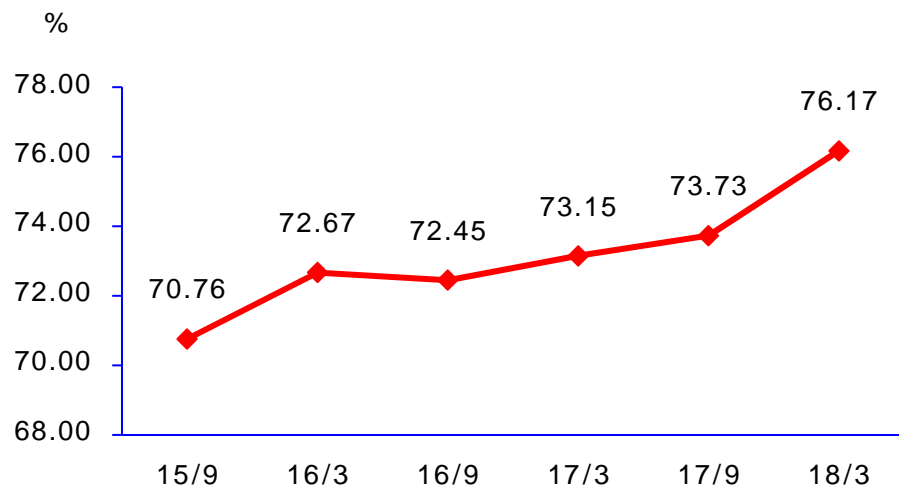
貸出金残高（地域別）



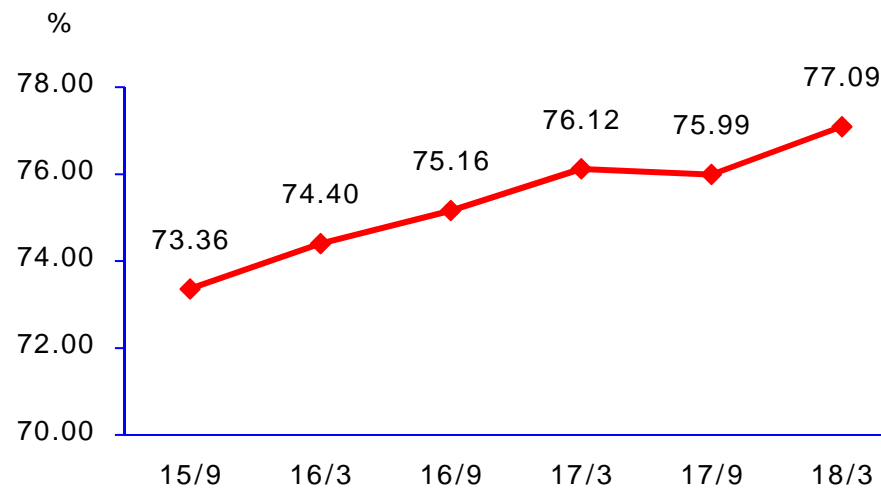
貸出金残高（人格別）



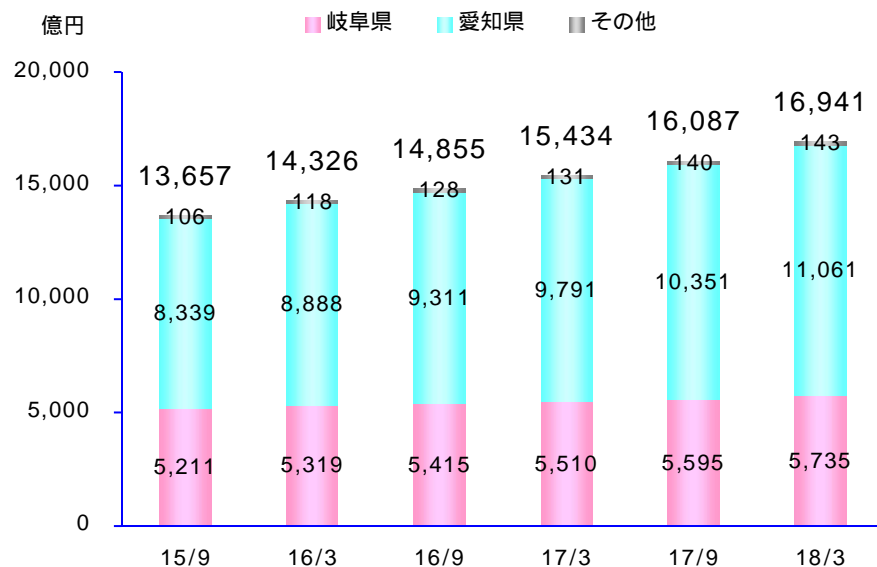
預貸率



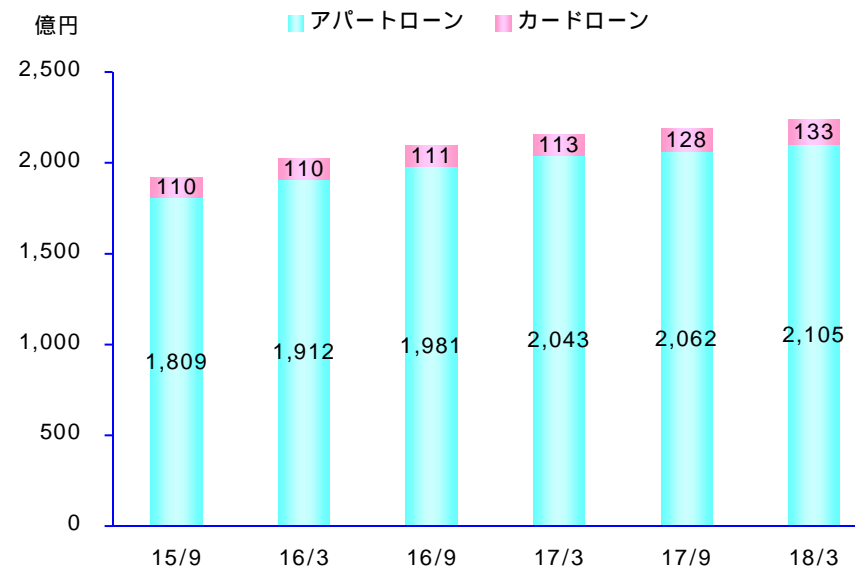
中小企業等貸出比率



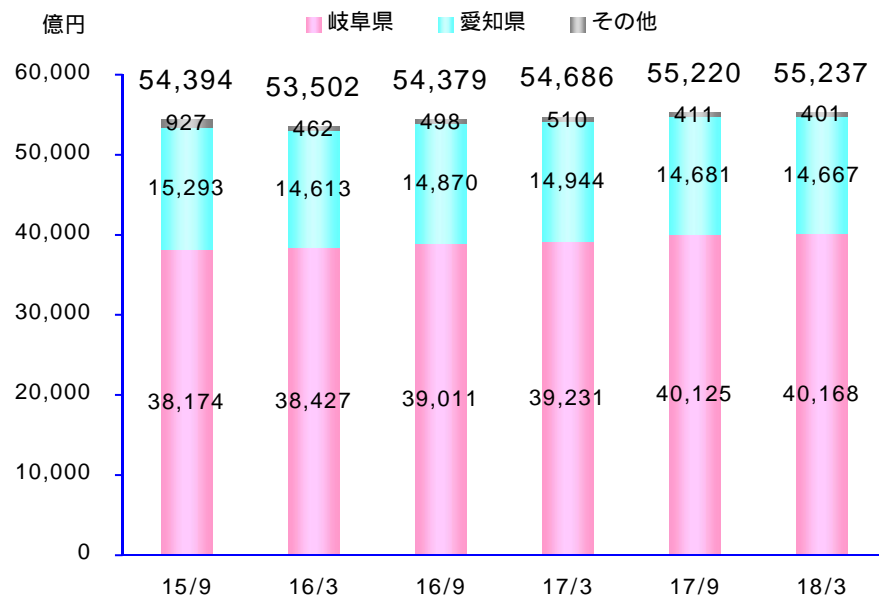
住宅ローン残高（アパートローン含む）



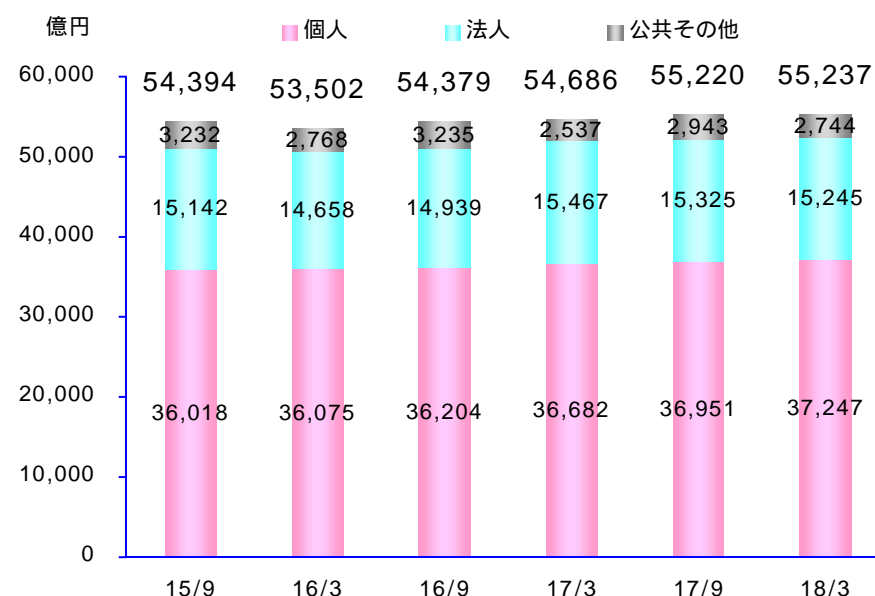
アパートローン・カードローン残高



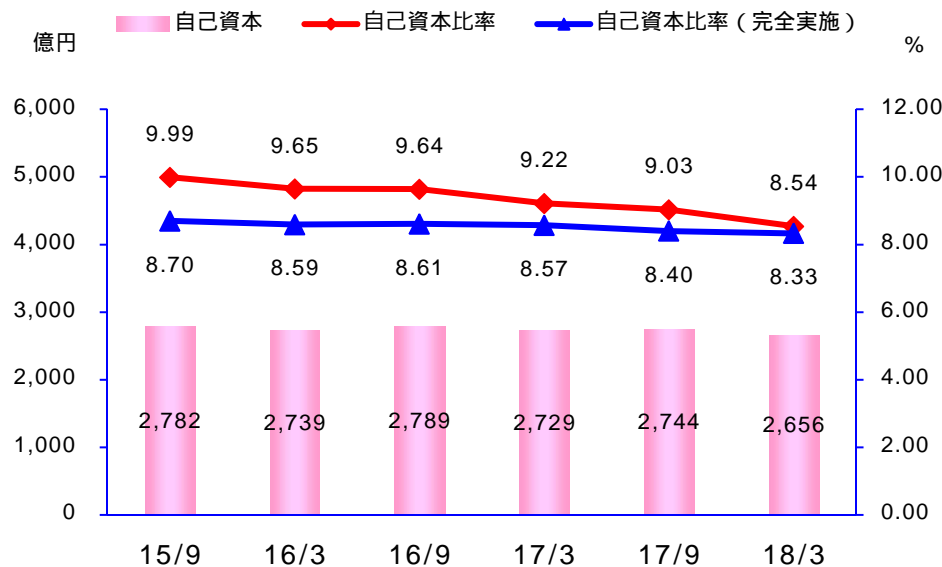
預金等残高（地域別）



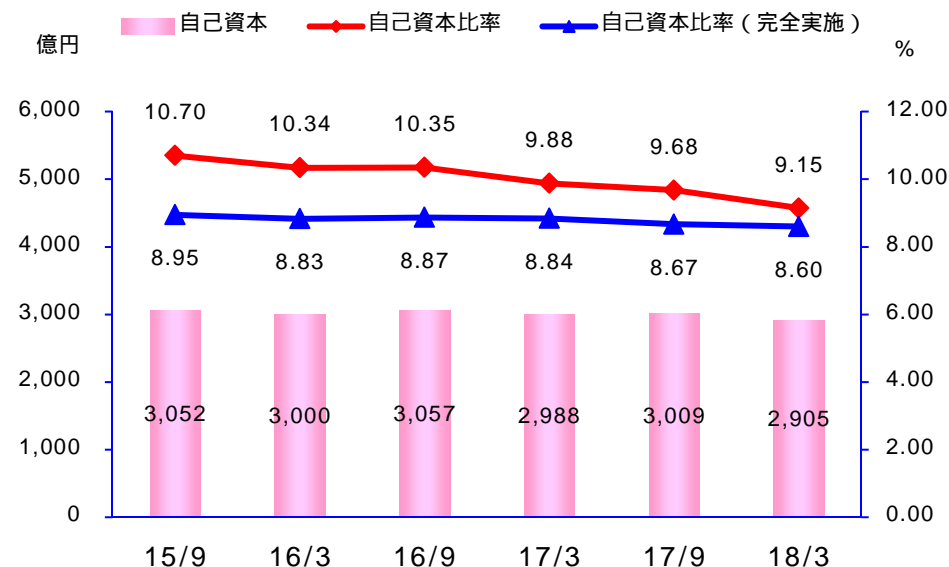
預金等残高（人格別）



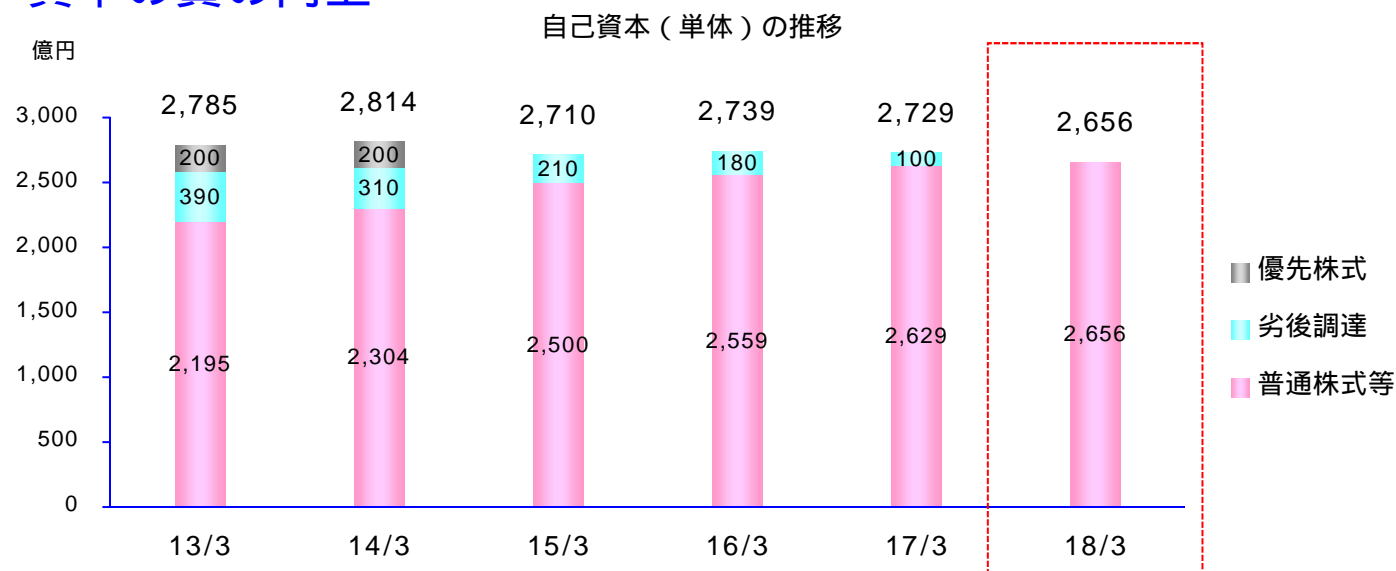
自己資本比率（単体）



自己資本比率（連結）



資本の質の向上



劣後社債100億円を期前償還し、劣後調達はゼロとなった

主要施策について

東海東京FHとの包括的業務提携による証券子会社の設立



TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.



- ・ 2018年3月、東海東京FHと包括的業務提携について基本合意
- ・ 証券子会社を設立し、2019年度中の開業、初年度黒字化を目指す

【提携の目的】

1. 東海地域を地盤とする両社が提携することにより、対等なビジネスパートナーとして相互にその業務をサポートし、営業基盤の強化をはかる。
2. 両社のリソースを最大限に活用した提携とすることで、銀行業と証券業にとどまらない、次世代の金融グループの姿を示し、お客さまのニーズに合わせて多様で良質な商品・サービスを提供することにより両社の企業価値を向上する。

東海地域で最大規模の地方銀行

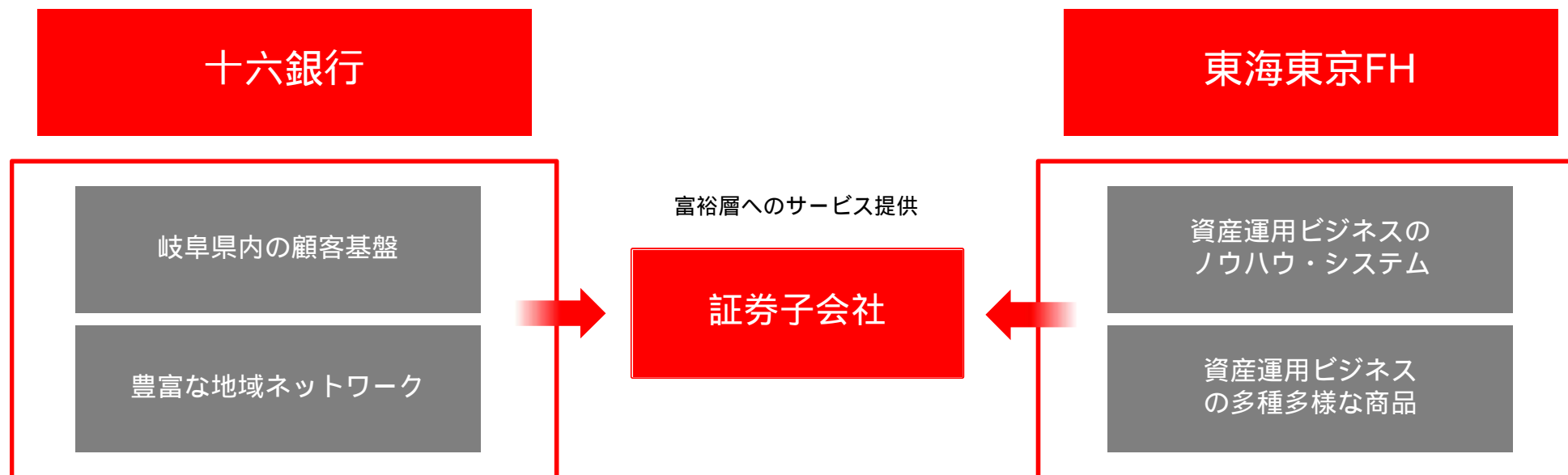
十六銀行

東海地域で最大規模の証券会社

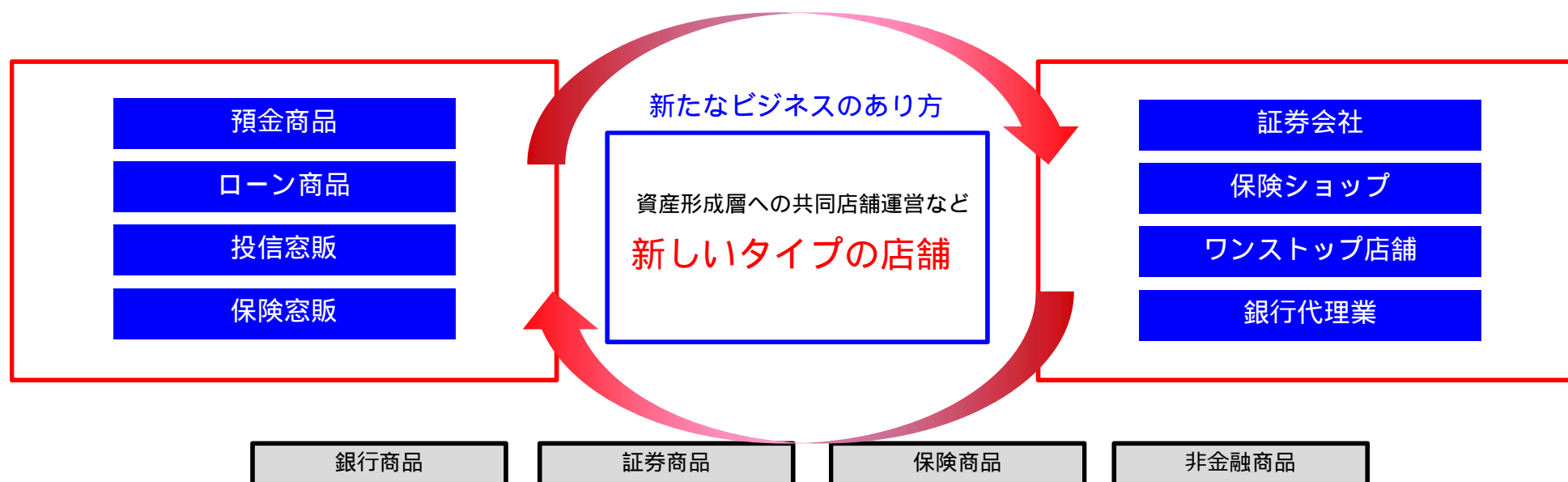
東海東京FH

包括的業務提携

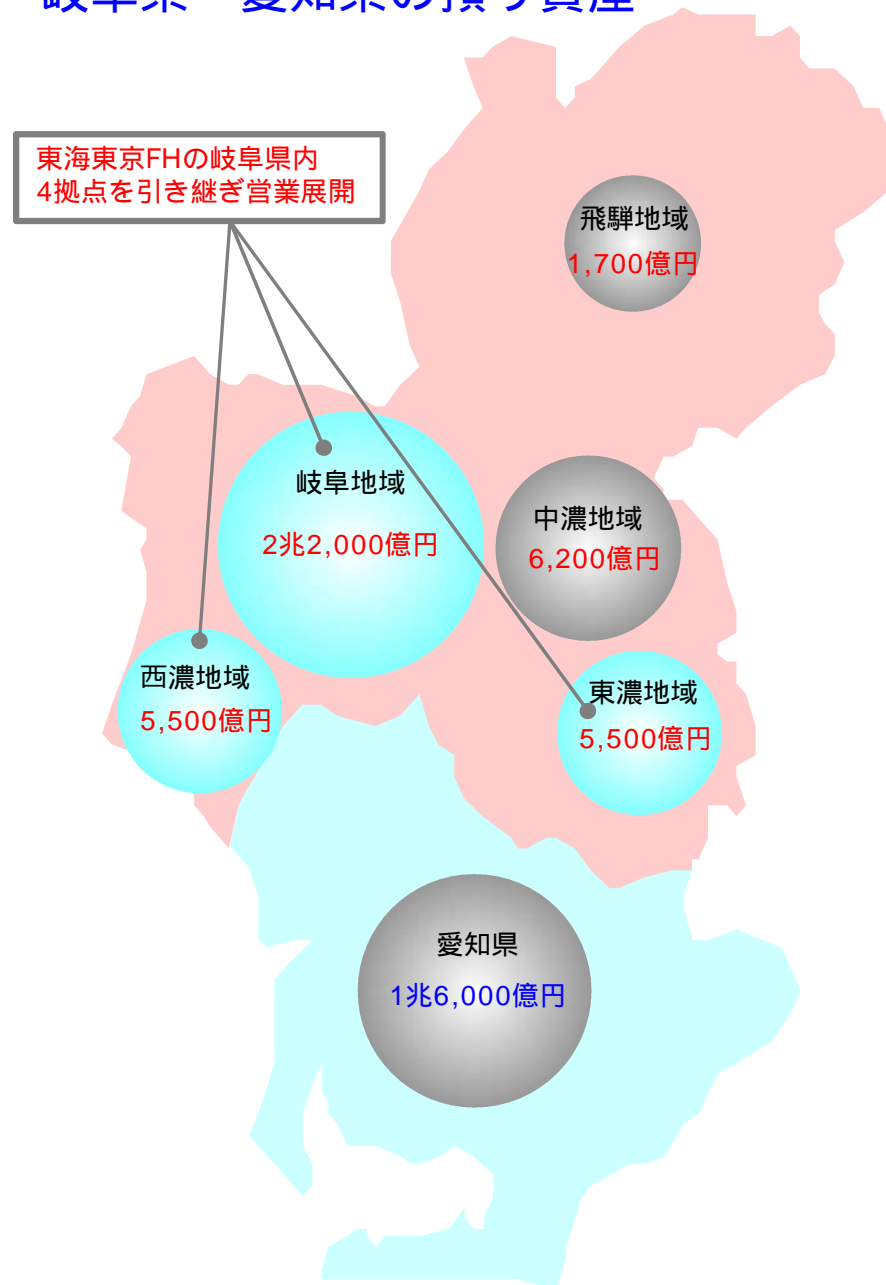
銀行と証券が融合した新たな金融モデル



業務改革によって生み出した店舗のスペースや人員を銀証連携店舗や新たなビジネスへ

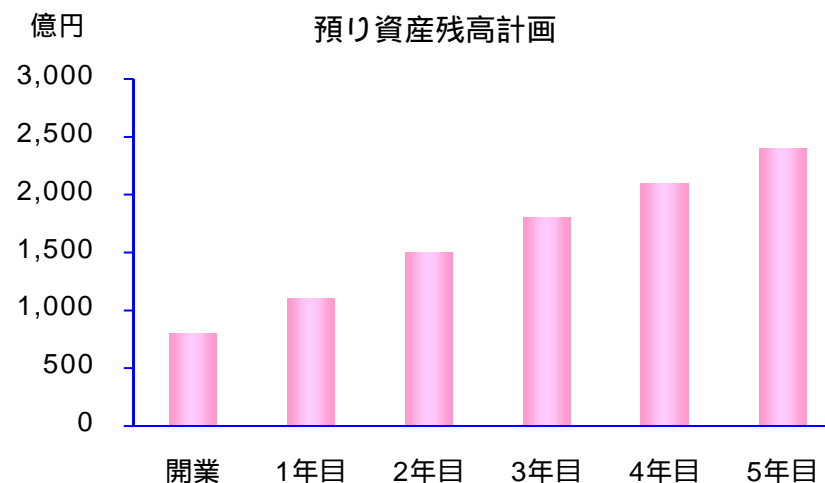


岐阜県・愛知県の預り資産



証券子会社

- 100名規模での開業を計画
- 東海東京FHの岐阜県内4拠点（岐阜、大垣、多治見、中津川）を引き継ぐ
- 開業後毎年度、対象エリアの預り資産残高3兆3,000億円の1～2%程度の預り資産獲得を目指す
- 早期に預り資産残高を1,000億円へ
- 岐阜県内で空白地域となっている中濃地域、飛騨地域への銀証連携店舗を展開



2016年4月に「営業店活動評価」制度導入

営業ノルマを廃止し、お客さま本位の営業活動のプロセスを評価



「営業店活動評価」制度の流れ

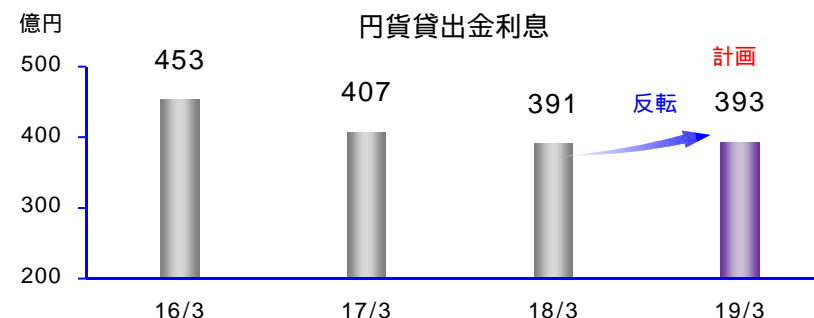
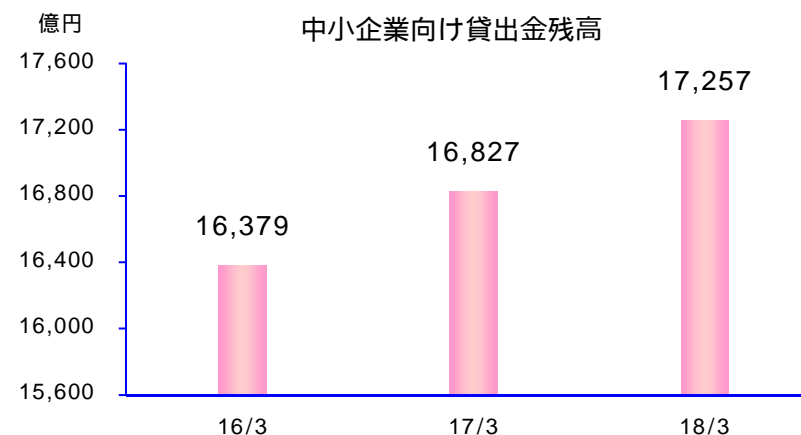
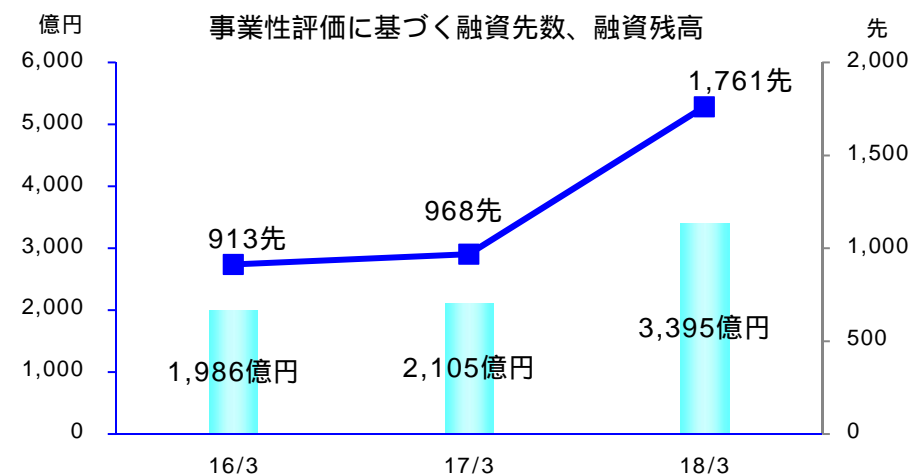
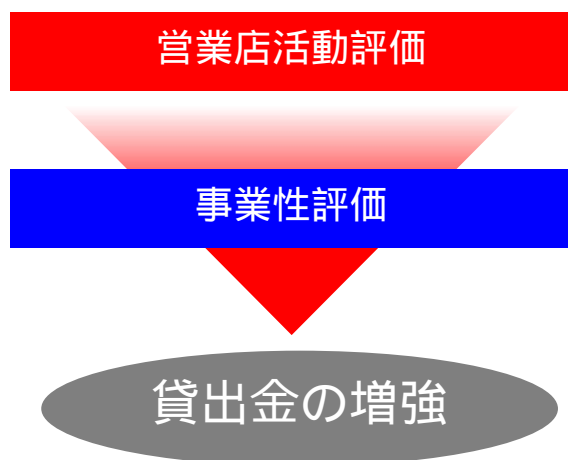
	PLAN	Do	CHECK	ACTION
営業店	店舗運営方針策定 【店舗運営方針】	営業活動	進捗状況の確認	期中振返り 来期取組み
本部各部	活動評価基準策定 【営業店活動評価基準】	活動計数推移等還元	活動評価の実施	
ブロック長	フォロー活動	フォロー活動	臨店等で確認	
ブロック業務推進役				
担当業務推進役				一次評価
担当常務役員				二次評価
経営会議				評価決定

「営業店活動評価基準に基づく本部各部の評価」、「ブロック長の評価」、「（業務推進役の）臨店等の結果」を総合的に勘案し、担当業務推進役が一次評価を行う

貸出金の増強

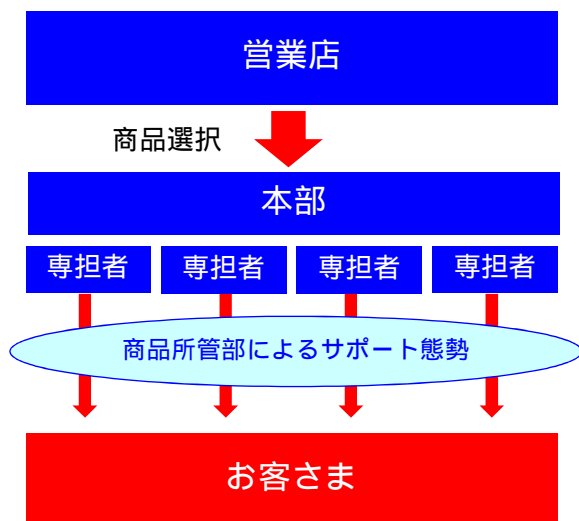
お客さまとの接点強化

- 新たな事業性評価手法の導入（2018年3月）**
 知的資産マネジメント支援機構(株)と提携し、取引先企業の事業内容をデータ化して課題を取引先企業と共有する取組みを開始
 個人のスキルに依存しない「仕組みによる事業性評価」へ
- 「金融仲介機能強化研究会」の設立（2018年1月）**
 地銀9行と連携し、事業性評価の実効性を高めるための取組みを開始
 事業性評価のノウハウの蓄積・高度化へ
- 「グロースローン」取扱い開始（2018年3月）**
 取引先企業の事業性評価および事業計画の策定を条件とする融資商品



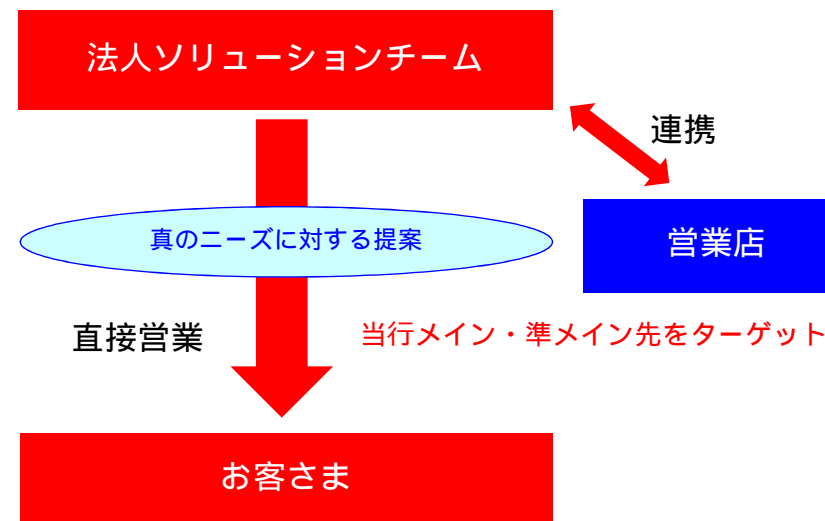
「法人ソリューションチーム」の設置

法人営業態勢

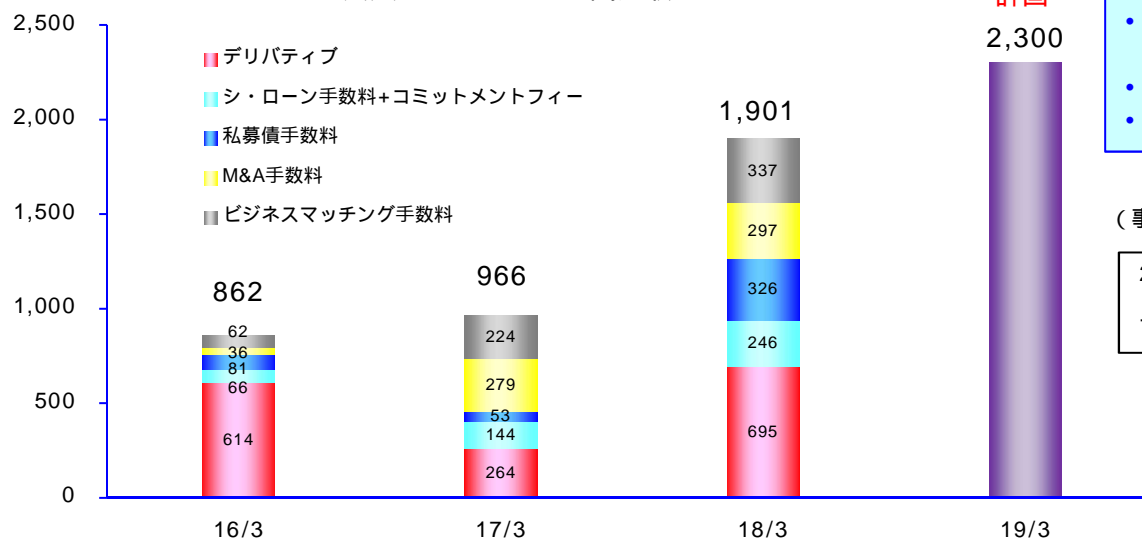


商品の枠を超え、より多角的な視点からお客さまの真のニーズを把握し、よりスピーディに提案できる態勢へ

2018年1月法人ソリューションチーム新設



百万円 法人ソリューション関連収益



- 事業承継チームとの連携によるM&Aの推進
- 顧客ニーズに応えるオーダーメイド型デリバティブ商品の提案
- 地域への貢献を希望する顧客向けにCSR私募債を提案
- 商談会の開催による地元企業への販路開拓支援

(事例) 岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト

2018年2月、内閣府より、「特徴的な取組事例」として表彰を受ける



営業店改革プロジェクトの本格展開

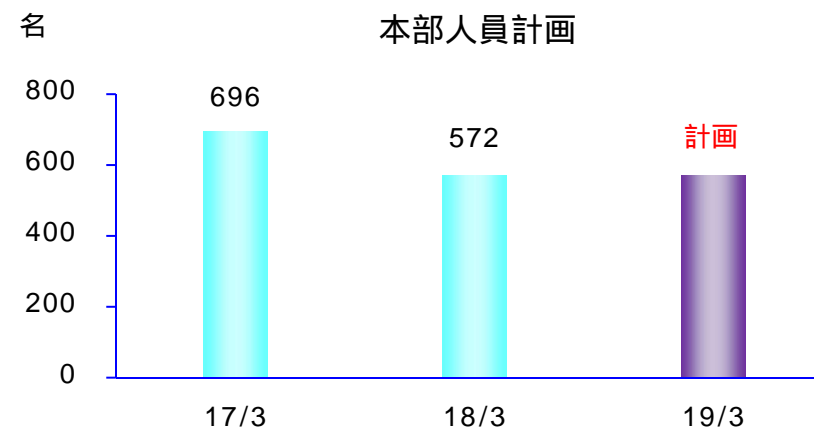
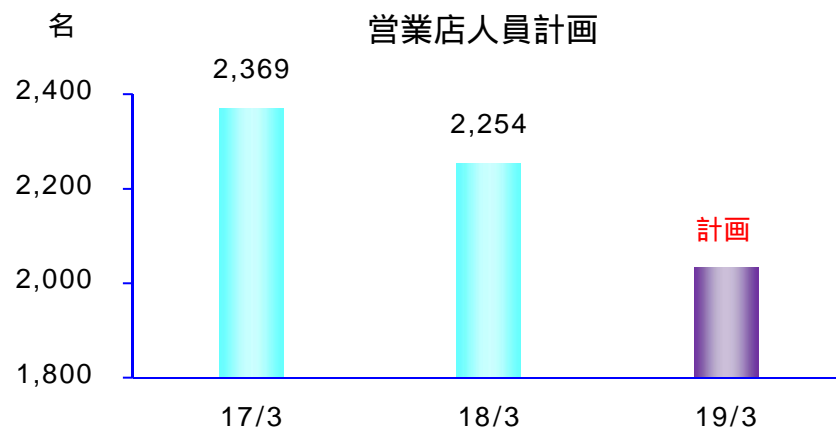
営業店改革プロジェクト

- 営業店のバック業務を本部に集中、営業店からバック業務を徹底して削減
- 営業店の行員がお客さまと向き合うための時間を創出
- より少人数で運営可能な営業店体制を構築



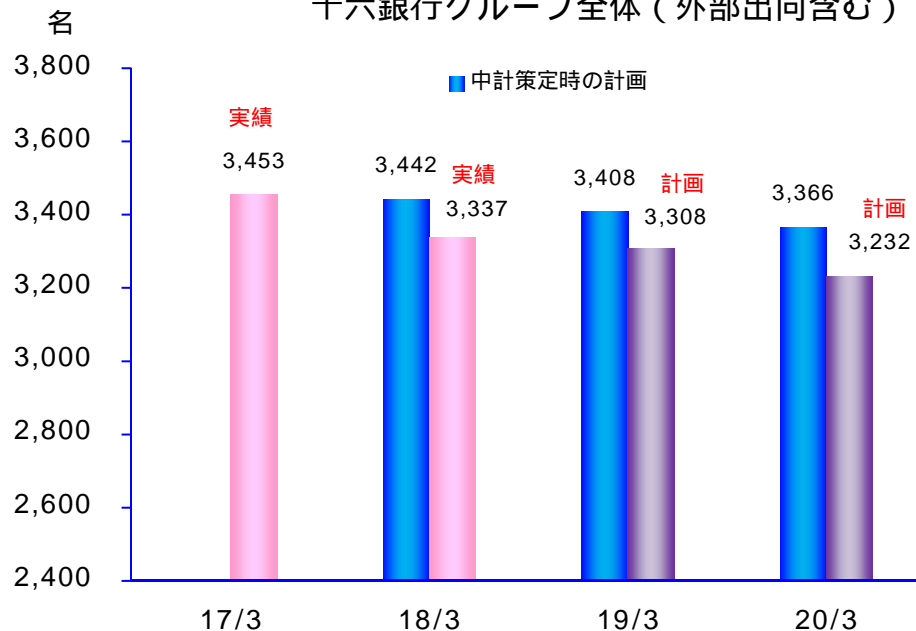
本部機能のスリム化

- 2017年6月、本部組織改正を行い「17部2室45グループ」を「13部2室35グループ」にスリム化して重複業務を集約化
- 業務の見直しによる効率化
- 本店ビルに無線LANを導入し、会議の効率化・ペーパーレス化を実現
- 年間2,000時間の会議削減（会議廃止、開催頻度削減、参加人数削減）

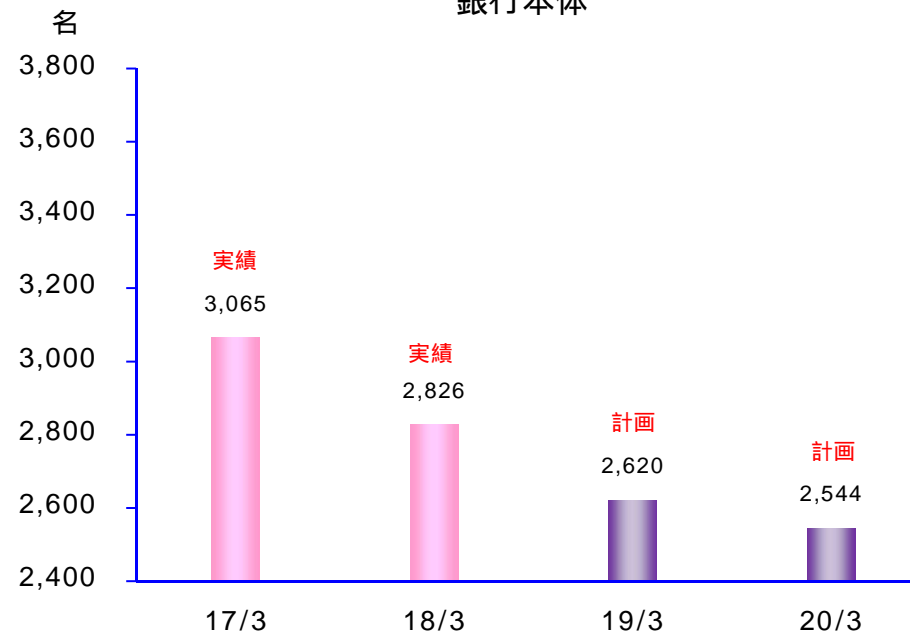


人員計画

十六銀行グループ全体（外部出向含む）

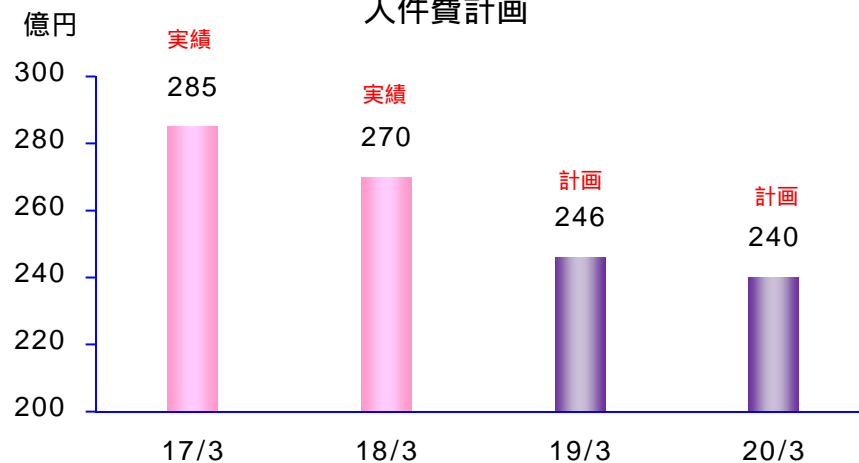


銀行本体

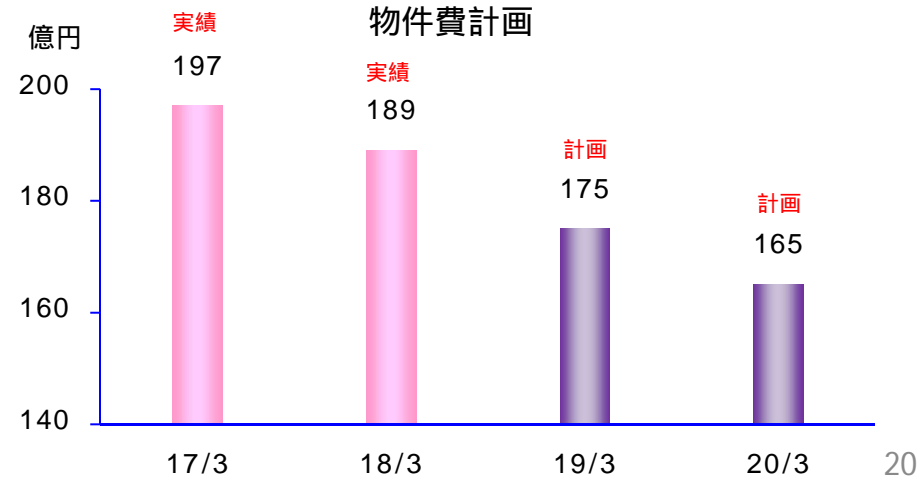


経費計画

人件費計画



物件費計画



山之手支店（愛知県豊田市）



山之手支店のクイックカウンター



山之手支店の特徴

- クイックカウンターにより行員の現金タッチレス化を実現
- 現金集計作業の効率化により営業時間を17時まで拡大、日曜日営業の実現
- 7名体制の運営

岐南支店（岐阜県岐南町）



岐南支店の特徴

- 土日祝日も「ホリデーじゅうろく岐南」として様々なサービスを提供
- 休日営業時間は10時～17時（4名体制）
- 当行3店舗目の「ホリデーじゅうろく」

Environment

・森林資源保全活動

「じゅうろくの森 “みたけ”」での森林整備事業

御嵩町および岐阜県と森林づくり協定を締結し、「じゅうろくの森 “みたけ”」において森林づくり活動を実施



森の名称	じゅうろくの森 “みたけ”
場所	岐阜県御嵩町
面積	6.71ヘクタール
協定期間	2017年9月～2023年3月
活動内容	森林整備、遊歩道整備、環境学習等

岐阜県と「恵みの森林づくり・ぎふ木育推進に向けた包括協定」締結



締結日	2018年2月20日
目的	当行と岐阜県が相互に連携し、「恵みの森林づくり」「ぎふ木育」に関する持続性の高い取組みを通じて、「清流の国ぎふづくり」の推進に資することを目的とする。
ぎふ木育について	「ぎふ木育」とは、岐阜が誇る木と共生する文化を将来へつないでいくための取組みであり、豊かな自然を背景とした「森と木からの学び」と定義されている

Social

・地域の労働環境改善活動

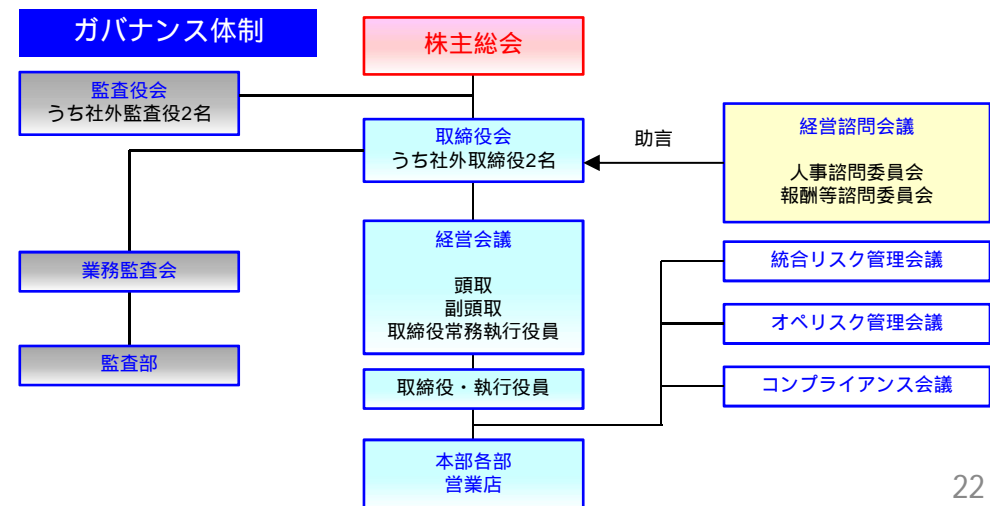
岐阜労働局と「働き方改革に係る包括連携協定」締結



協定に基づき、地域の人手不足問題を解決するため「人手不足対策セミナー」を3回開催

- ・人手不足対策セミナー@高山（2017年12月）
- ・人手不足対策セミナー（岐阜）（2018年2月）
- ・旅館・ホテル・観光業の人手不足対策セミナー高山（2018年2月）

Governance



2019年3月期 業績予想

単体

(単位:億円)

	2018/3 (実績)	2019/3 (予想)	前期比
コア業務粗利益	581	592	11
資金利益	486	493	7
役務取引等利益	84	97	13
その他業務利益(除く国債等関係損益)	10	2	8
経費	487	450	37
うち人件費	270	247	23
うち物件費	189	175	14
コア業務純益	93	142	49
有価証券関係損益	22	13	9
国債等債券損益	32	-	32
株式等関係損益	55	13	42
与信関係費用	5	17	22
経常利益	122	145	23
当期純利益	93	100	7

連結

(単位:億円)

	2018/3 (実績)	2019/3 (予想)	前期比
経常利益	139	151	12
親会社株主に帰属する当期純利益	99	102	3

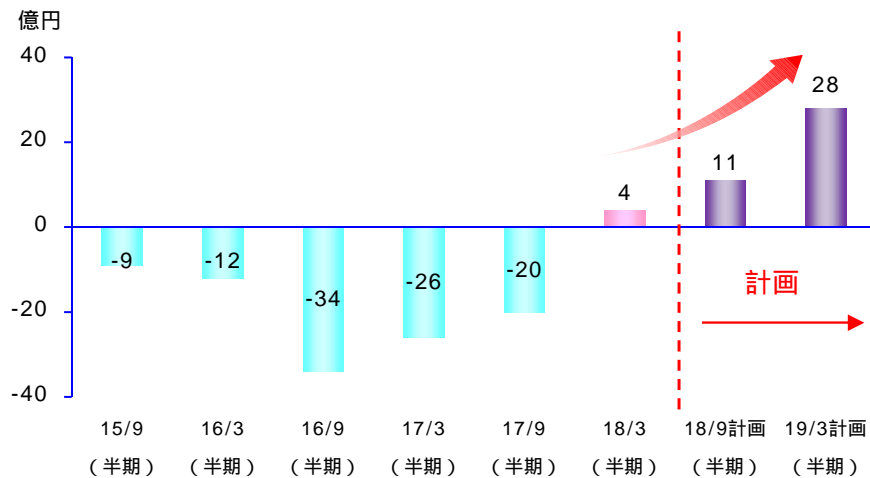
単体業績予想の概要

- 資金利益は前期比+7億円
- 役務取引等利益は前期比+13億円
- 経費は前期比 37億円
- 有価証券関係損益は前期比 9億円
- 経常利益は前期比+23億円
- 当期純利益は前期比+7億円

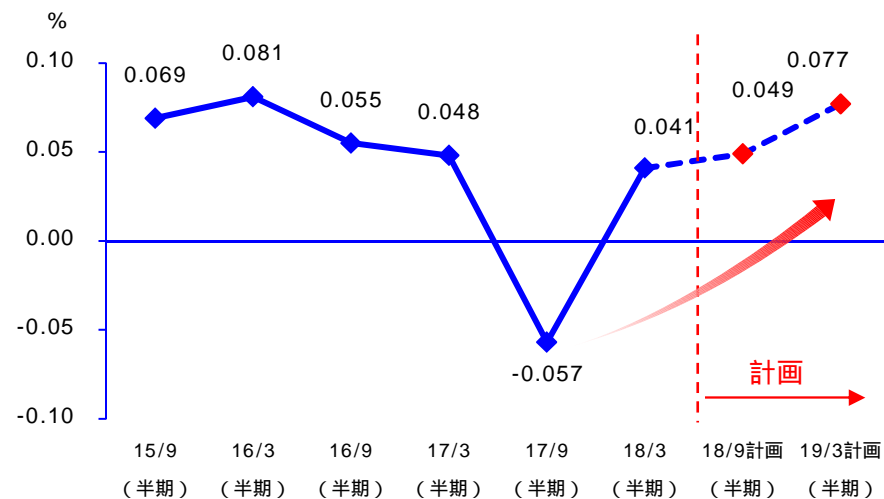
第14次中期経営計画 計数目標の進捗

項目		2018/3 (実績)	2019/3 (予想)	中計最終年度目標 (2020/3)
収益性	当期純利益(連結)	99億円	102億円	100億円
成長性 (顧客基盤)	地域プレゼンス(預金等平残+貸出金平残)	9兆6,242億円	9兆9,432億円	10兆円
	うち預金等平残	5兆5,010億円	5兆6,061億円	5兆7,000億円
	うち貸出金平残	4兆1,231億円	4兆3,371億円	4兆3,000億円
健全性	自己資本比率(連結)パーゼル 完全実施	8.60%	8.33%程度	8.7%程度

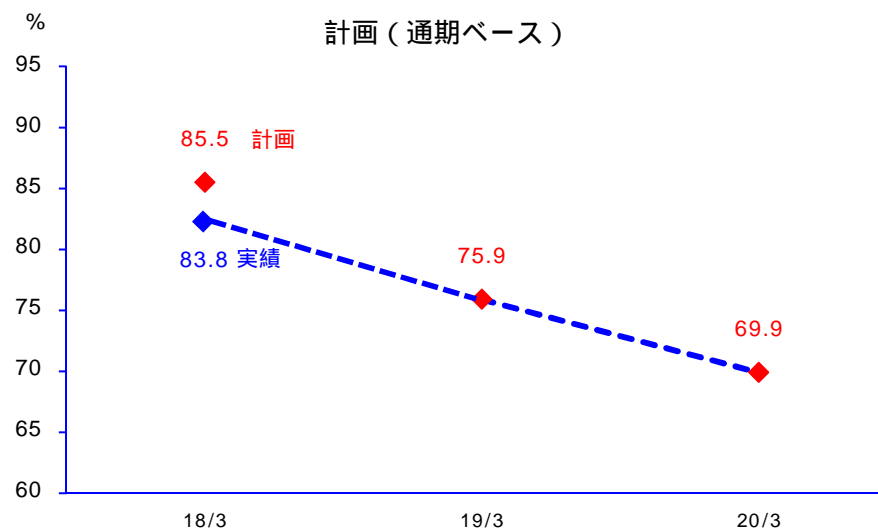
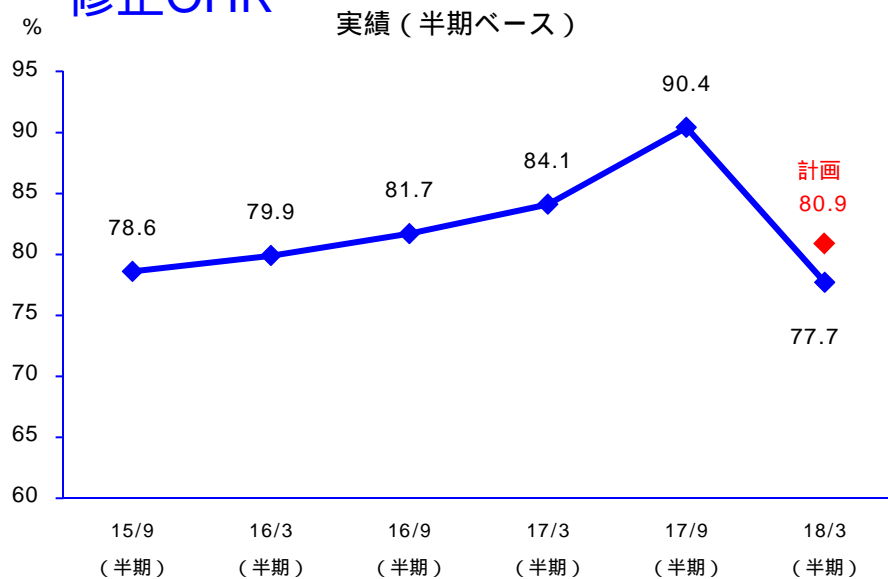
顧客向けサービス業務利益



総資金利鞘



修正OHR



All For Your Smile

こころにひびくサービスを



2nd Stage

